

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和08年01月16日

計画の名称	いつまでも快適な下水道 大阪狭山市（その4）（防災・安全）											
計画の期間	令和07年度 ~ 令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	大阪狭山市											
計画の目標	災害に強い、安全で快適な暮らしのまちを創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,948	A	1,948	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R7年度当初	中間目標値 R9年度末	最終目標値 R11年度末
1	ストックマネジメント計画で改築が必要な管渠延長率を0%（R7年度当初）から100%（R11年度末）に向上させる。 ストックマネジメント計画で改築が必要な管渠延長率 改築した管渠延長（m） / 改築が必要な管渠延長（1,000m）	0%	50%	100%
2	下水道総合地震対策計画の対象施設の耐震化率を0%（R7年度当初）から100%（R11年度末）に向上させる。 下水道総合地震対策計画で耐震化が必要な人孔の耐震化率 耐震化した人孔基数（基） / 耐震化が必要な人孔基数（58基）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

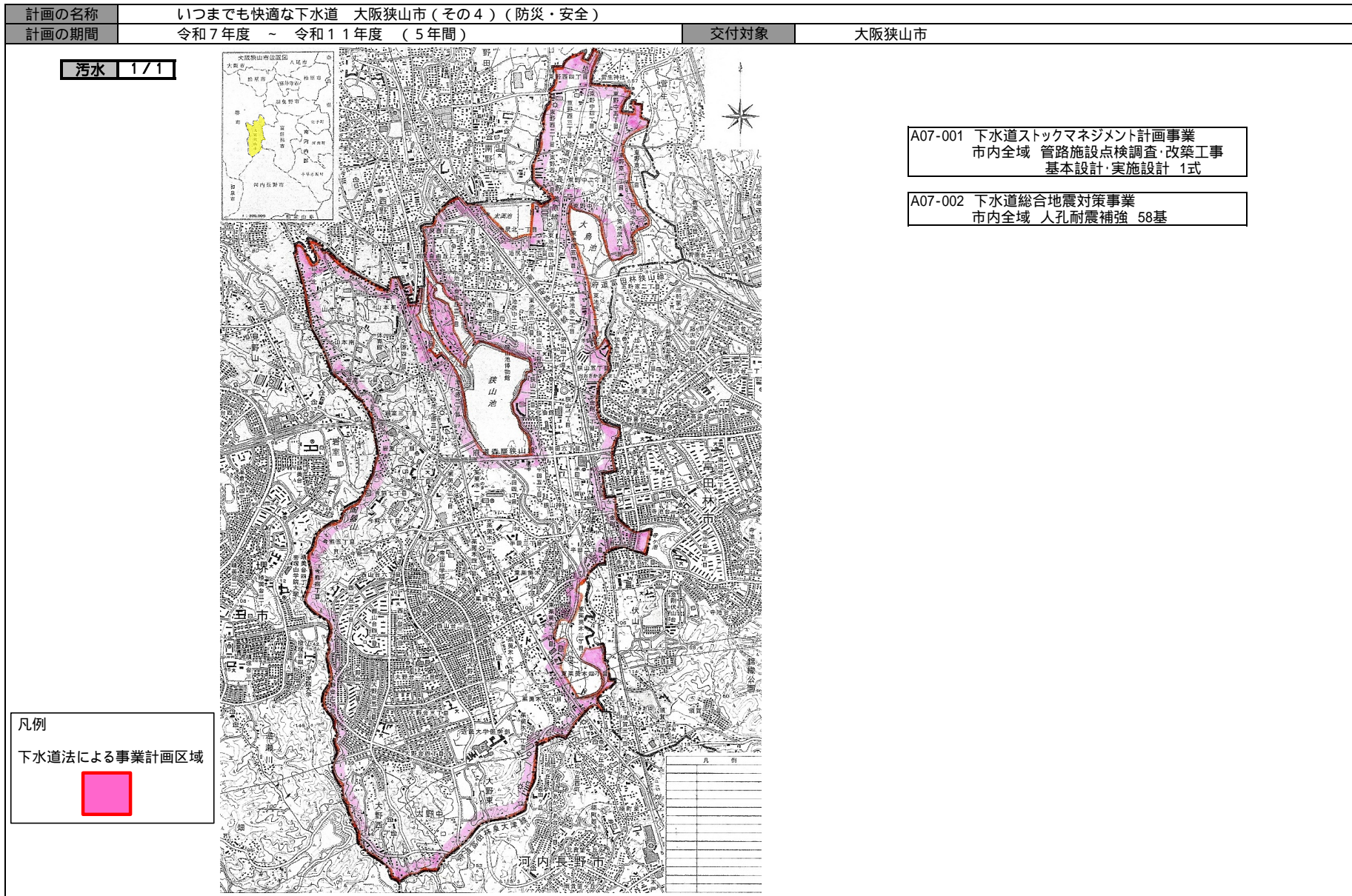
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント計画事業	管路施設点検調査・改築工事・計画策定・実施設計 1式	大阪狭山市						1,384	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画 種別1は外に管渠(雨水)を含む。																	
	A07-002	下水道	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策計画事業	人孔耐震補強 58基	大阪狭山市						144	-	策定済
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-003	下水道	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業	詳細設計・管布設工事 1式	大阪狭山市						400	-	-
	A07-004	下水道	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	管渠(雨水)	改築	内水浸水リスクマネジメント推進事業	計画策定 1式	大阪狭山市						20	-	-
											小計						1,948		
											合計						1,948		

交付金の執行状況

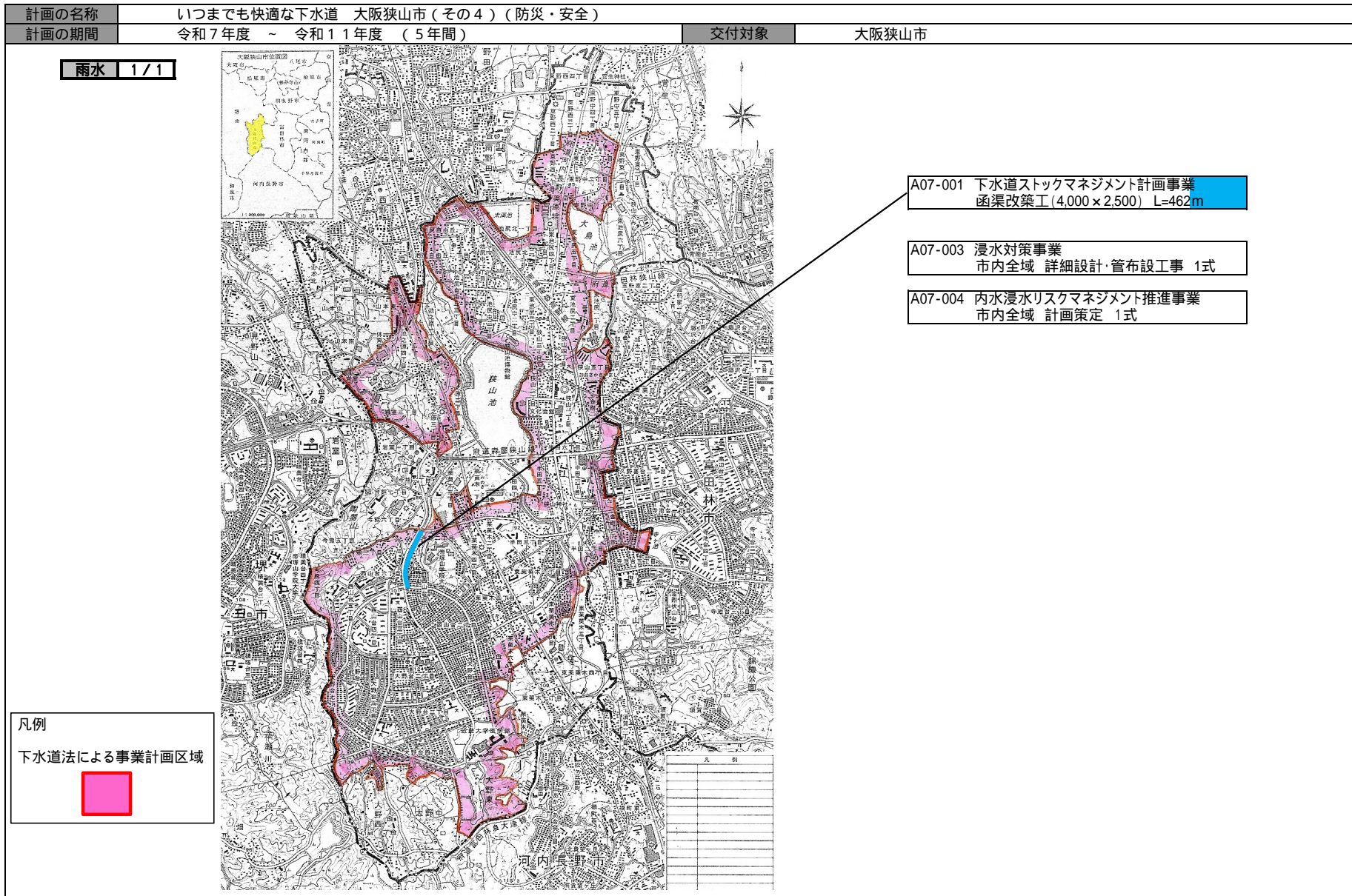
(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	80				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	80				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	80				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式 3) (参考図面)



(参考様式3) (参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： いつまでも快適な下水道 大阪狭山市（その4）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 下水道整備の目標が事業計画方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の特性を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性 下水道整備に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 継続的な下水道整備の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○